

ARCIST

アーキスト

for The Value Stage
＜編集発行＞ アーク&パートナーズ®

女性経営者が日本を変える!

外部パートナー：一般社団法人エメラルド倶楽部
代表理事
菅原 智美

アプリを開発してみた

代表・税理士 内藤 克

嫡出でない子の相続分差別に
関する最高裁決定とその取扱い

司法書士 西田 誠

近年の労働問題について

社会保険労務士 黒川 健吾

祝! 2020年東京オリンピック開催決定!! 7年後 何してですか?

猛暑の名残もすっかり薄れ過ぎやすい季節になりましたね。

最近のおめでたいニュースと言えば、2020年東京オリンピック開催決定!銀座はどうやらマラソンのコースの一部になるようです。海外からのお客様も増え、にぎやかになるといいですね。

2020年といえますと後7年…皆が口にするのはその頃自分は何をやっているんだろう??

アークのメンバーにインタビューを行いました!

せっかく東京でのオリンピックですが、ハワイから衛星放送で応援することになりそうです。そのころ開設したばかりのアーク&パートナーズ ホノルル支店の業務が順調にまわり始めちゃっているの…

内藤

多国籍の社員と働くグローバルな組織となっている。選手としてオリンピックに出たい!

黒川

税理士業務の傍らでミュージシャンとしてメジャーデビューし、オリンピックの開会式においてYOSHIKIの伴奏で国歌を唱います。聴いてください。

西田

現在、イタリア語を始めて1年半ですが、東京オリンピックが開催される2020年まで7年間勉強を続けて、ボランティアに参加していると思います。

税理士法人の支店を出して3年経ち、経営者の苦労を味わっています。とは言え意外と儲かっているので、調子に乗って毎年7月はダイビング強化月間にして小笠原やMEXICOなどに行きまくっています。そして…今のARCメンバーと、この原稿を書いた頃の自分を懐かしく思っているはず。

34歳女性

25歳の時に感じた人生のピーク50代を迎えるに当たり、50代の10年間を相変わらず満員の地下鉄に揺られ夢想しています。

42歳男性

社会人生活も10年が経ち、そろそろ自分でも行動を起こせるようになってほしいです。そして、日ごろの不摂生な食生活が災いし、医者から野菜中心の食生活を勧められていることでしょう。結婚して子供もでき、家族みんなでオリンピックを観に行っていることでしょう。もちろん、観戦時にはホットドッグとコーラを片手にしながら。

25歳男性

1年後 手続きのスペシャリスト。2年後 結婚。4年後 社労士として精励し、結果-4キロのダイエットにも成功。そして7年後 労務のスペシャリストになります!

25歳女性

東京オリンピック開催が決定してから始めた英会話も日常生活に困らない程度に上達し、国際色の強くなった業務に対応すべく日々奮闘していることと申します。

37歳女性



近年の労働問題について

社会保険労務士 黒川 健吾

平成13年度に労使紛争の早期解決を目的としてスタートした個別労働紛争解決制度であるが平成24年度の施行状況を見ると相談件数は106万7210件と高い水準で利用されている。そのうち助言・指導に至ったケースが初めて1万件を超え過去最高となった。つまり、会社に非があると認められるケースが増加していると言える。

個別労働紛争解決制度の利用状況(平成24年度)

相談内容	件数
いじめ・嫌がらせ	51,670件(17%)
解雇	51,515件(16.9%)
労働条件の引き下げ	33,955件(11.2%)

相談者	比率
正社員	39.8%
パート・アルバイト	16.6%
契約社員	11.2%

ここで注目したいのは近年「いじめ・嫌がらせ」の相談件数が増加し続け初めて「解雇」を上回ったことだ。一般的に、ハラスメントはセクハラを除いて法令に明確な規定がなく、判断が非常に難しい。ただ、精神疾患による労災申請件数、および認定件数が増加していることも事実だ。

ハラスメントとは「相手の意に反する行為により、相手に不快な感情を抱かせること」で人格侵害は加害者の不法行為となり、就業環境の悪化は配慮義務違反として使用者責任を問われることになる。

厚労省は9月1日に行った「ブラック企業」に関する特別相談でも、1日で1000件を超える相談があり、過重労働、パワハラに関する相談が半数近くに上った。特に学生や若年層からの相談が多くみられた。

このことから、すでに労働者個人の問題として対応する段階を超えているのではないだろうかと感じる。

自身を振り返ってみても、私のように高度経済成長期に生まれ、安定期に学生生活を過ごし、バブル全盛期に社会人になった世代と、バブル崩壊後に生まれ、アジア通貨危機、リーマンショックと続いた「失われた20年」を過ごしてきた世代とは仕事に対するスタンスは全く異なる方と考え方が自然かもしれない。

彼らは「日本の未来は明るい？」の問いに対しても、肯定的な意見は2割を切っている調査結果もある。

このように考えると、これまでのルールや慣習と決別して新しいルールに舵を切るべきではないか。人材のグローバル化が盛んに騒がれているが、まずは企業が抱える課題を解決しなければグローバル化の前に息切れしてしまうのではないだろうか。



女性経営者が日本を変える!

一般社団法人エメラルド倶楽部
代表理事

菅原 智美

日本では、主要他国に比べ女性起業家が少ない。現在、日本において経営者の女性比率はわずか約10%(2010年東京商工リサーチ調べ)。世界69カ国を対象にグローバルアントレプレナーシップモニターが調べた2012年起業活動率(18歳~64歳の人口に占める起業者の割合)では、起業する男性に対する女性の比率は、米国は69%、英国は54%、日本は36%と低い。

私は、女性経営者が増え、社会で活躍する事こそが日本経済が活性化する事につながると信じ、女性経営者の会、エメラルド倶楽部を主宰しています。

エメラルド倶楽部を立ち上げ4年が経過し、会員様も全国700名を超えました。そして、企業が成長する為に必要なビジネスの出会いと学びを提供しています。

消費を握っている女性こそが経営者となり、商品、サービスを提供し、女性の気持ちがわかる女性の経営者が増えてこそ女性の雇用が促進されます。この会を1000人、2000人、1万人と増やし、社会にロールモデルを発信し、日本を変えるような影響力のある会に育てたいと考えています。

成功している経営者からお話を聞き感じている「成功者の共通点」が3つあります。

1.情熱がある(本気)

2.何事も早い

3.将来のビジョンが明確でありその内容を発信している

引き寄せの法則といいますが、やはり3年後、5年後の会社の形、自分の姿が明確であるとその為に必要なものを引き寄せていく事を私も実感しています。そして、成功者には周りに必ず協力者がいます。本気の人には皆、協力したくなりますよね。

女性経営者の特徴として80%位の方が、女性ターゲットの商品やサービスを提供しています。自分が好きなものや自分があったらいいなとか不便だなとか感じている事から起業しているのです。そんな女性が必要とするサービス、商品が増える事こそやはり日本経済を活性化させる原動力となるのではないのでしょうか?

大好きな日本がますます世界に誇れる国となる為に本気で挑戦し続けます。

Advanced Reliable Consultants

